

令和 8 年度 函館英語英文学会プログラム

日時：令和 8 年 11 月 7 日（土） 13:00-18:00

会場：北海道教育大学函館校 第 2 講義室 （オンライン（Zoom）併用）

共催：日本英文学会北海道支部

後援：北海道教育大学

開会の辞・総会（13:00-13:15）

研究発表 第 1 部（13:25-14:25）

1. [共同発表] AI 時代における函館市内の英語教育

——考える力を育成するために——

佐々木 昌太郎（北海道教育大学函館校）

安孫子 美優（北海道教育大学函館校 2 年）

岩井 悠我（北海道教育大学函館校 2 年）

奥田 幸樹（北海道教育大学函館校 2 年）

小林 花瑚（北海道教育大学函館校 2 年）

桜田 悠空（北海道教育大学函館校 2 年）

佐藤 日香（北海道教育大学函館校 2 年）

鶴谷 暁人（北海道教育大学函館校 2 年）

林 穂乃香（北海道教育大学函館校 2 年）

2. ELF 志向型英語教育をめぐる国内文献の動向：スコーピングレビュー中間報告

西村 加奈（レスター大学大学院修士課程）

研究発表 第 2 部（14:35-15:35）

3. 中学校 3 年間を見通した音読学習によるエージェンシーの発達

——AI 音声認識を活用した系統的音読学習モデルの構築と途中経過報告——

穴田 晃一（函館市立港中学校）

4. 高校英語ライティングにおける「足場のある学び」を生徒はどう捉えるか

——自己選択型単元と参照可能テストに対する振り返りの質的分析——

佐々木 ちひろ（北海道函館西高等学校）

研究発表 第 3 部（15:45-16:45）

5. Follow-up Questions を取り入れた Speaking 活動における学習者間 Interaction

——工業高校の英語授業における教室談話の分析——

斉藤 堯仁（北海道北見工業高等学校）

6. *get* 受身はなぜ感情を帯びるのか

——評価・因果的さかのぼり（Causal Backtrack）と OCC 理論による統一的説明——

石川 博基（秋田市立御所野学院高等学校）

研究発表 第 4 部（16:55-17:55）

7. 地方大学の海外研修運営における構造的課題と共同派遣モデル：フィリピン・セブ研修の事例

小野 真嗣（北見工業大学）

石塚 博規（北海道教育大学名誉教授）

8. 日本語の世界観と英語の世界観

濱田 英人（札幌大学名誉教授）

閉会の辞（17:55-18:00）